

特集 I

〜ふくしまの美味しさを食卓へ〜
福島県・JAグループ福島夏秋青果物トップセールス開催



▲大田市場 東京青果(株)マンモスセリ台にてPR

福島県とJA全農福島は、首都圏（7月22日）と関西地区（8月5日）において夏秋青果物トップセールスを実施しました。首都圏では大田市場内東京青果(株)マンモスセリ台にて、また関西地区では大果大阪青果(株)果実セリ台において、内堀県知事・大橋五連会長が、生産者の良質な農作物を消費地に届けようとする想い「ふくしまプライド。」「愛情福島」についてPRされました。内堀県知事からは「これからも皆様に信頼される産地作りを続けて参ります。どうか福島県産青果物を可愛がっていただきますようお願いいたします。」と挨拶がありました。大橋五連会長からは「生産者が愛情

をたくさん込めて育てた青果物が立派に育ちました。福島県産青果物をたくさん食べて、夏を元気に乗り切ってください」とPRがありました。会場では、ミスピーチキャンペーンクルー2017も「桃」と「きゅうり」の試食・プレゼントを行いながら、旬を迎えた福島県産青果物のPRを行いました。また、主要卸売会社等との懇談や、主要量販店であるイトーヨーカ堂様、万代様への訪問・販売促進イベントも同時開催され、流通関係者から一般消費者の方々へ、広く福島県産青果物の魅力をお伝えしました。



▲大阪市場で記念撮影



▲大果大阪青果(株)セリの様子影

特集 II

福島が「丸」となってPR「まるごと福島フェア」開催!!



▲オープニングセレモニーの様子

鳥県漁連・福島県森連・福島県アンテナショップ「ミミデッテ」・福島県商工会議所が一堂に会する販売イベントとなりました。福島県が誇る農産品・水産加工品・林産品など、の素晴らしいさを存分に知ってもらおうと、各団体が選りすぐりの商品を取りそろえ、PR販売を行いました。

オープニングセレモニーでは、地方創生担当・山本幸三前大臣から、「福島は素晴らしい農産物を作っているところであり、震災後も全力で頑張っている。農林水産業と商工会との連携により、この福島フェアから全国に地方創生事業が広がっていくことを期待している」と激励をいただきました。続いて県団体挨拶として、地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会の大橋信夫会長からは「震災から約6年半が過ぎ、少しずつ復興の兆しが見えてきたがまだまだ風評被害が残っている。生産者は一つ一つ愛情

込めて作っているが、安全安心が伝わっていないことが残念。県民全体で頑張っていくので、ご支援をよろしく願いたい。」と挨拶がありました。また、福島県商工会議所連合会の和合アヤ子理事からは「福島のあるぼ柿を使い、JAさんと共同で開発した新商品『あんぼ柿のタルト』をPRする。一つの団体ではできないことを、五団体が連携して大きい絆をもって頑張りたい。」と挨拶がありました。最後に、福島県島利行副知事からは「今回のフェアをきっかけとして、ぜひ福島へ足を運んでもらいたい」とPRがありました。

会場には販売開始前から多くのお客様が来場されま



▲自慢のあかつき、そしてキュウリをたくさんの方にお買上げいただきました



▲17ミス日本みどりの女神も福島の桃をPR

した。オープンと同時に、ももやきゅうりを始めとした農産物や、加工品等を手にしたお客様でレジには長蛇の列ができるほど大いに賑わいました。「あかつきを」手にしたお客様からは「今年はまだ、ももを食べないから嬉しい」といった声も聞かれ、福島県産品の魅力を知ってもらうため、各団体の担当者らは熱心に商品のPRを行っていました。

8月8日（火）、東京大手町JAビルにありまます農業・農村ギャラリー「ミノレ」にて「まるごと福島フェア」を開催しました。このフェアは地方創生事業の一環として、全国農業協同組合中央会・全国森林組合連合会・全国漁業協同組合連合会・全国商工会連合会・日本商工会議所が結んだ異業種連携協定における取り組みの第一弾であり、福島の震災復興を後押ししようということから、JA全農福島・福